

ふれあいトーク記録書（議会サポーターとの意見交換会）

開催日時： 令和2年1月25日（土） 午前10時～正午
 場所： 市役所7階委員会室
 参加人数： 13名（サポーター） 7名（市議会議員） 計20名
 次第： 1. 開会挨拶 市議会議長 梅村均
 2. 意見交換
 3. 閉会挨拶 市議会副議長 関戸郁文

項目	参加者の意見・質問	議会の応答
議案、一般質問について	・1年目と違い、一般質問が多岐にわたり幅広さが出てきた。 ・何事も役所は、保守的な面があるので、提案を継続して、こだわりを持ってやり遂げてほしい。例えば、SDGsの問題提起もあったが、一回の発言だけでなく、続けて推進してほしい。	・今議会は、政策の継続性に力を入れている。議長の任期を複数年にした。委員会メンバーの複数年を諮っている。 ・SDGsについては、164の実施項目に照らし合わせ、良いか悪いかを考えていく必要がある。 ・滋賀県の県議会では、20年、30年後の県のあり方をどうするかという意味合いで、中高生を審議会に入れて意見を求めている。岩倉市も、先を見た政策の作成を考える必要がある。
	議会の中で、議案と違う内容になっていることがあるが、どうしてか。他に発言する機会が無いのか。	・本会議は、時間が限られているので、議案に沿った質問が原則である。 ・閉会中は、文書質問や資料要求などで公式にやり取

		りする仕組みになっている。本会議にムダが無いようにしたい。 ・議員は、公式の場で発言する範囲が限られている。何でも発言して良いわけではない。そういう意味合いでは、きちんと分けてやらないといけない。
	・関心を持って、どのような提案・発言をするのかを見ていた。思ったより、良い発言をされていた。活発な議論をされていた。 ・来年は、市制 50 周年を迎える、50 年を見越した岩倉は、どうあるべきかを意識した提案をして頂きたい。 ・隣接する北名古屋市に負けない市にしてほしい。 ・SDGs をふまえて、岩倉にふさわしい発展をしていく必要がある。	・北名古屋市との関係は、あまり深い関係は無いが、五条川という共通の財産があるので、議会側も広域的な行政のあり方を追求していく必要がある。 ・総合計画は、市の計画で最も重要なものである。10 年後の岩倉のまちづくりを、どうしていくかを決める大切なものである。議案の提出前の早い段階から政策に関与していく必要がある。
	・議員は目的を持って当選したのであるし、市の方もそれなりの手当をもらっているので、傍聴している人にわかるよう努力してほしい。また、むだな時間が多いように思う。	・議員としての責任を重く感じている。本会議でむだが無いように努めていく。
	・健幸都市という宣伝文句だけでなく生活の中で実感できることが大切である。 ・個人的なお願いですが、図書館の東側の木の枝が茂って、雨の日は、車との接触が怖いので枝を切ってほ	・健幸は、あらゆる政策に通じる横断的キーワードである。各部署が、健幸をいかにしていくかを考えることが重要である。議会側も言い続けていく。 ・木の枝については、対処していけるよう努めてい

	しい。	く。
桜並木について	・桜並木を、どのように保全していくか、観光資源の視点、健康維持の側面から考えて提案してほしい。 ・プロジェクトを作ってやるぐらいの覚悟がほしい。	・桜の延命をどうするかの方角性は、市制 50 周年までに、出せるようにしていきたい。 ・資金の確保、植栽等しっかり議論し結論を出していきたい。
岩倉の将来について	・将来のイメージ、ビジョンが見えてこない。公共施設の老朽化、ブランド力アップ、工業団地は、どのような形になるのか私には伝わってこない。	・公共施設の再配置として、北小の屋内運動場と一部放課後児童クラブを含む複合施設の整備に向けて設計に入っている。希望の家は、民間譲渡に向けてサウディング調査を実施した。 ・本年は、総合計画を策定する年であるから、全体像を決める重要な年になる。サポーターの皆様にも協議会等に参加してほしい。
	・肥大化した事業をやるのではなくスマートな事業をやるべきである。 ・未来像、青写真の議論なく税金だけ取っているから投票率が下がる。将来像のある都市にしていきたいため、もっと自発的に参加できる形でやってもらいたい。 ・現状をかえるために労力を使ってほしい。	・これからは、A I の時代である。市も、一部 A I のデータ処理を取り入れる予定だ。我々も考え方そのものを変えていく必要がある。 ・政策がよく見えないのは、シンクタンクが無いからである。市も政策研究のため、お金を使うべきである。政策部分でも、市民の方に開放し、参加を求めていくべきである。
傍聴等について	・一日傍聴することは、大変なことだとわかった。 ・専門用語があり、わからないことがあった。	・専門用語を、わかりやすい言葉で話すよう努めていきたい。 ・議会は、限られた世界で議論されている。それが正しいのかどうか客観的に外から見てもらいたい。サ

		ポーター制度のねらいもそこにある。率直に思ったことを話していただければありがたい。
	・一般質問通告要旨は、読みやすく、わかりやすい。議員の方が、市政をよく考えていることが伝わる。 ・市民の素朴な意見を聞いて、質問に変えて頂きありがたい。それが集まり政策提言になっていき、総合計画の方向性につながると思う。	・一般質問は、議員が日頃考えていることを、質問する機会である。皆様方も、まちの問題や暮らしづらさがあれば、議員に話してもらいたい。知恵を出し合いながら、いい提言ができるようにしていきたい。
	・働いていると、なかなか傍聴に行けない。ホームページを見ても、長くて大変である。どのように関わって行ったらいいか、よくわからない。	・そういう意見が大切である。 ・ホームページのあり方も、もっと身近に感じられるよう発信していく必要がある。 ・ホームページの中で、興味のあるところだけでも見て頂き、質問していただくだけでも、有り難い。
	・仕事が忙しく、有給休暇を取るにしても老いをかかえていると取りにくい。参政権も投票だけでなく、政治に関わることであれば、働き方改革として休みが取りやすくなればいいと思う。	・時間の無いなか、こうして参加されていることが、ありがたい。
	・議会の傍聴人が少なく残念に思う。 ・それをカバーする為に「市議会だより」を出されているが、一般の人は、ほとんど読んでいない。お金も何十万もかかる。ページ数も少なくし、中身も変えたほうが良いと思う。	・10年前の市議会だよりは、ひどいものだった。随時改善し充実をはかってきた。 ・他の市議会だよりと比べると、議論の中身を詳細に書き、Q&Aも入れるようにした。 ・もう一度、他市の「市議会だより」を参考に改善できるよう議会広報委員会で検討していきたい。
人口減少、	・2060年には、日本の人口は8670万人になると言わ	・URは、名古屋市などでMUJI×URとして新し

岩倉団地の有効活用について	れている。自然減が51万人。毎年、鳥取県の人口がなくなることになる。医療費の増大など、お金はいくらあっても足りない。市が儲けることを考えなければいけない。 ・URの岩倉団地は、空きが198世帯ある。その他空き家が多くある。これを有効活用することを考える必要がある。 ・住宅が無く、岩倉を出ていく人が多い。住み続けてもらう政策が必要である。	い入居者を増やしている。残念ながら岩倉市は、選ばれなかった。
議会サポーター制度の最大2年任期について	・制度としては、良い制度なので続けてもらいたい。 ・2年目は熱心に取り組んだが、2年目は、マンネリ化した。2年で丁度いいと思う。新しい感覚でやってもらった方が良い。 ・関心のある方は、2年という枠に縛る必要はない。新たなサポーターを呼び込んだが良いと思う。 ・サポーターの傍聴が、増えるようにしてほしい。	・議会基本条例検証特別委員会で皆様の意見を参考にさせて頂き、検証評価をして、より良い制度に発展させていきたい。 ・他市からの視察で必ず聞かれるのが、このサポーター制度である。それだけ関心の高い制度であり、これからも維持・発展に努めていく。